



面倒見の良いばななぐみのAちゃん。近くにいたりんごぐみのK君が気になったのかコップを差し出し「これ飲む?」「おいしい?」「次はなにが欲しい?」と優しく声を掛けますが言葉がままならないお友達に、上手く伝わらない場面もあったのかK君の目線に合わせるように少ししゃがんで身振り、手振りを加え関わりを持ち始めました。

その状況にお互い困っているわけではなく、子ども同士言葉では伝えきれない何かを感じているようにも見えた為、保育者はそのまま2人を見守ることに🌸しばらくするとK君もお姉さんの表情をじーっとみて何かを読み取りはじめ次第に自分に向けた優しい気持ちや安心感を感じ取ったのか、うんうん!と笑顔でうなずきながらもAちゃんの思いにこたえようとしていました。

その後も2人にしか味わえない雰囲気の中、ままごとを楽しんでいましたよ!言葉のコミュニケーションは難しくとも互いの気持ちをわかり合おうとする姿勢やどうしたら伝わるかな?と自然な営みの中で見つけ出す姿に子どもの逞しさを感じたひと場面となりました。